

令和元年度

学生によるオレンジリボン運動

大正大学 実施報告書



実施主体 大正大学ソーシャルワーク演習を受講する2年生

実施内容 令和元年 11月2日大学祭での啓発活動等

① 事前に取り組んだ内容

- ・ソーシャルワーク演習の授業において、児童虐待について、児童虐待の現状、オレンジリボン運動の趣旨、児童虐待を未然に防ぐための方法などを調べ、啓発活動のポスターを作成しました。
- ・昨年に引き続き、豊島区子育て支援課・地域区民ひろば課と協働して取り組むことになり、豊島区更生保護女性会と民生・児童委員の方々に、授業の中でオレンジリボンの作り方を教わり、約500個のオレンジリボンを作成しました。
- ・オリジナルTシャツを手作りで作成しました。
- ・豊島区社会福祉協議会公式キャラクターである「ふくじい」を借用しました。
- ・オレンジリボン運動周知のためのパンフレットを作成しました。
- ・鴨台祭(大学祭)に向けて、啓発活動に関する紙芝居の台本作成、塗り絵、しおりを作成しました。

② 実施機関に取り組んだ具体的内容

<「鴨台祭」(大学祭)において>

- ・学生が作成した啓発ポスターの掲示、プレゼンテーションの実施。
- ・学生が考案した啓発活動に関する紙芝居の発表。
- ・来場者参加型の企画としてオレンジリボン運動に関する塗り絵としおり、オレンジリボンの作成。
- ・実際にあった児童虐待の事件を元にした映画「誰も知らない」の鑑賞会。
- ・オレンジリボン 500 個、オレンジリボン運動啓発パンフレットの配布。
- ・手作り顔はめパネルの展示。
- ・来場者が付箋に書いた感想をポスターに掲示。
- ・豊島区社会福祉協議会公式キャラクターである「ふくじい」を使用した、啓発パンフレット、オレンジリボンの配布活動。
- ・オレンジリボンオリジナルTシャツの着用。
- ・学内のサークルや団体の協力を得て、オレンジリボン運動啓発パンフレットの配布やオレンジリボンを身に付けてもらい、学校全体を巻き込んで啓発活動を行なった。
- ・ソーシャルワーク演習の授業の中で鴨台祭(大学祭)でのオレンジリボン運動の活動の振り返りを行い、更に出来ることはないかを考察し、鴨台祭後の活動に繋げた。
- ・実施後に学生の感想を学科ブログに掲載した。

＜大学祭以外での活動＞

- ・オレンジリボン運動啓発ポスター作り。
- ・大学内図書館、3号館1階(学びのスペース、月一回朝市が開催するスペース[地域住民が多く利用する場所])、「鴨台食堂」(地域住民も多く利用する大学内レストラン)、大学外「座・ガモール」(地域にある大学と提携している店舗・3店舗)でのオレンジリボン運動啓発ポスターの掲示。
- ・「鴨台食堂」(地域住民も多く利用する大学内レストラン)でのオレンジリボン配布。
- ・北区子ども家庭支援センターへ訪問し、児童虐待の現状や取り組みに関するお話を伺った&オレンジリボン50個贈呈。(11月28日訪問)
- ・ポスターの一部を池袋保健所、豊島区東部子ども家庭支援センター、豊島区の各区民ひろば(池袋、千早、富士見台、南大塚、西巣鴨第一・第二・清和第一・第二・朝日・仰高)で掲示。
- ・明治通り沿いに設置してある、大学の掲示板にポスター掲示。
- ・母校へ訪問し、オレンジリボン運動の啓発活動を行なう。(2月6日訪問予定)
- ・大学の広報誌に社会福祉学科の活動として、「オレンジリボン運動」を特集で掲載予定。(2月掲載予定)

③ オレンジリボン運動を終えて…

・今年度のオレンジリボン運動は、社会福祉学科の人達だけでなく他学科の人や来場者の方を巻き込み、学校全体で児童虐待防止運動に取り組むことができました。また、子ども連れの方、ご年配の方、目の不自由な方等の幅広い世代の方々に御来場して頂き、オレンジリボン運動について様々な形で知って頂いたことで、これまでの準備活動を有意義だと感じる事ができました。今回の活動を活かし、今後もオレンジリボン運動の啓発活動を続けていきたいと思いを。

・今回の「学生主体のオレンジリボン運動」は、大人だけでなく、子どもにも興味を持ってもらえたことが大きいと思います。子ども達にオレンジリボンの作成などをしてもらったことで記憶に残すことができ、虐待に関する紙芝居などをしたことで感性に訴えかけることができたと思います。子ども達にオレンジリボン運動を身近に感じてもらうことで子ども同士の助け合い、そして彼らが成長した時に、オレンジリボン運動を担うことにも繋がると思います。我々の活動によって、オレンジリボン運動がさらに広がることを願います。

・オレンジリボン運動の鴨台祭での活動を通して、児童虐待防止のためのオレンジリボン運動をたくさんの人々に知ってもらう難しさを実感しました。その中でも、ポスター発表や紙芝居などを通して、自分たちの行動でオレンジリボン運動を来てくださった方々に伝えることができ、自分自身も児童虐待防止のためにオレンジリボン運動に参加できていると感じました。少しでも多くの人にオレンジリボン運動を知ってもらい、児童虐待の防止に繋がられるように、今後の活動にも積極的に参加していきたいと思いを。

